

物理探査電子納品要領 付属資料  
(原案)

平成 29 年 6 月

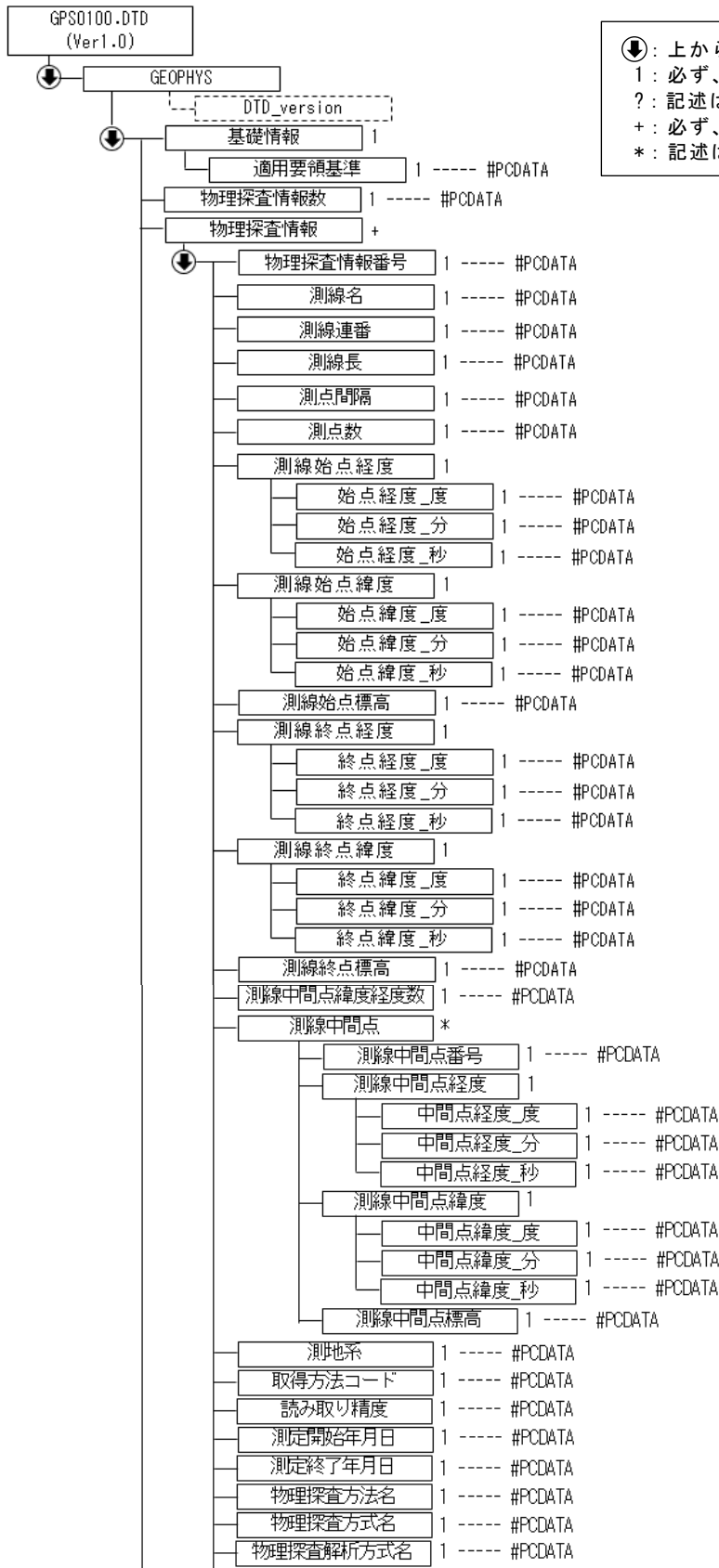
地質地盤情報電子データ標準化小委員会

## 物理探査電子納品要領 付属資料（原案） 目次

付属資料 1	物理探査情報管理ファイル	1-1
1	物理探査情報管理ファイルの構造	1-1
2	物理探査情報管理ファイルの DTD	1-4
3	物理探査情報管理 XML ファイルの例	1-9
付属資料 2	物理探査交換用物性断面ファイル	2-1
1	物理探査交換用物性断面ファイルの構造	2-1
2	物理探査交換用物性断面ファイルの DTD	2-3
3	物理探査交換用物性断面 XML ファイルの例	2-7
付属資料 3	物理探査電子納品適用資料	3-1
1	測線連番の割り当て例	3-1
2	物理探査交換用断面データと物理探査平面データの格納概要	3-4
3	納品者定義サブフォルダの作成例	3-5
付属資料 4	物理探査電子納品例	4-1
1	探査方法ごとの成果品と収録例	4-1
2	物理探査電子納品例	4-7

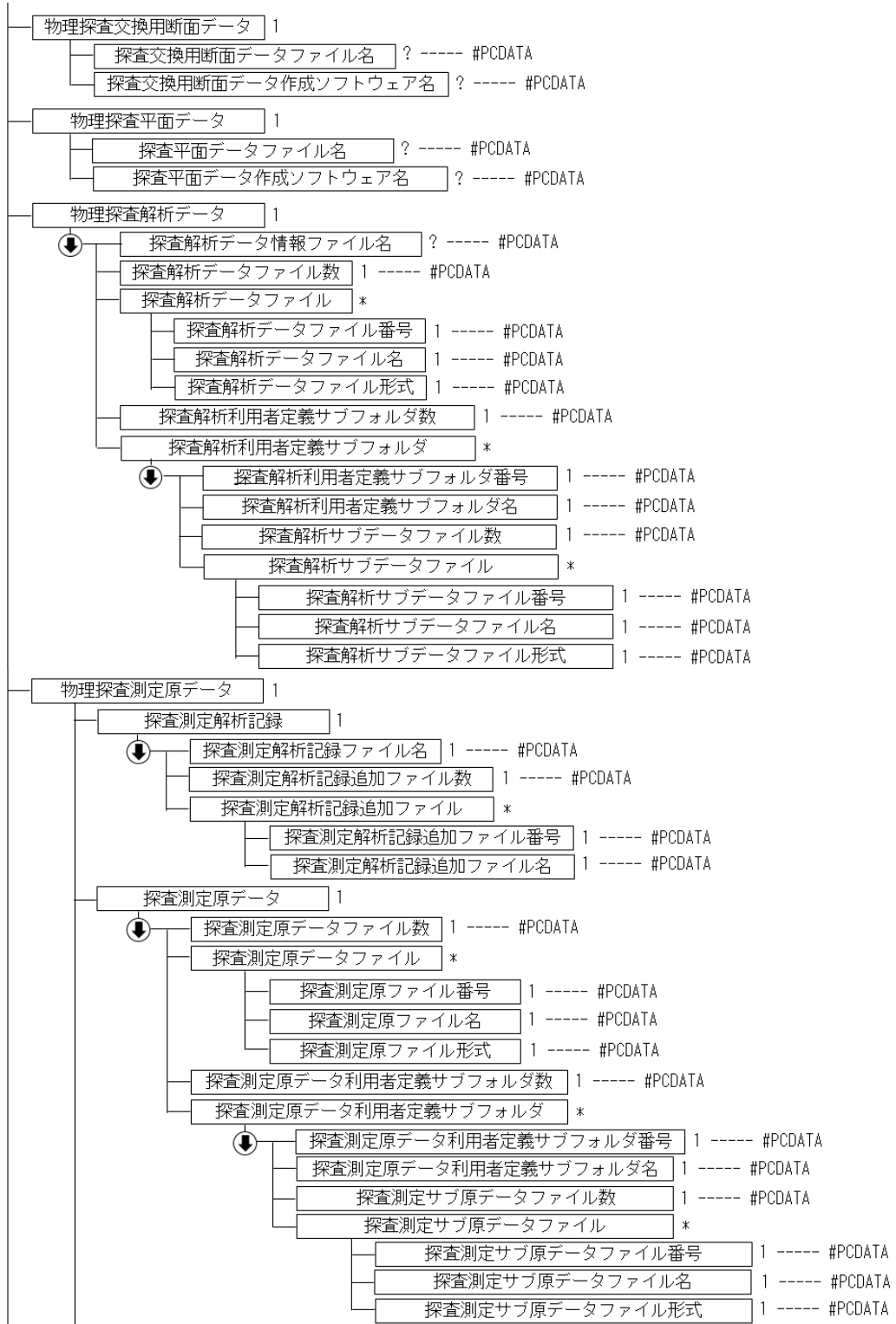
付属資料 1 物理探査情報管理ファイル

1 物理探査情報管理ファイルの構造



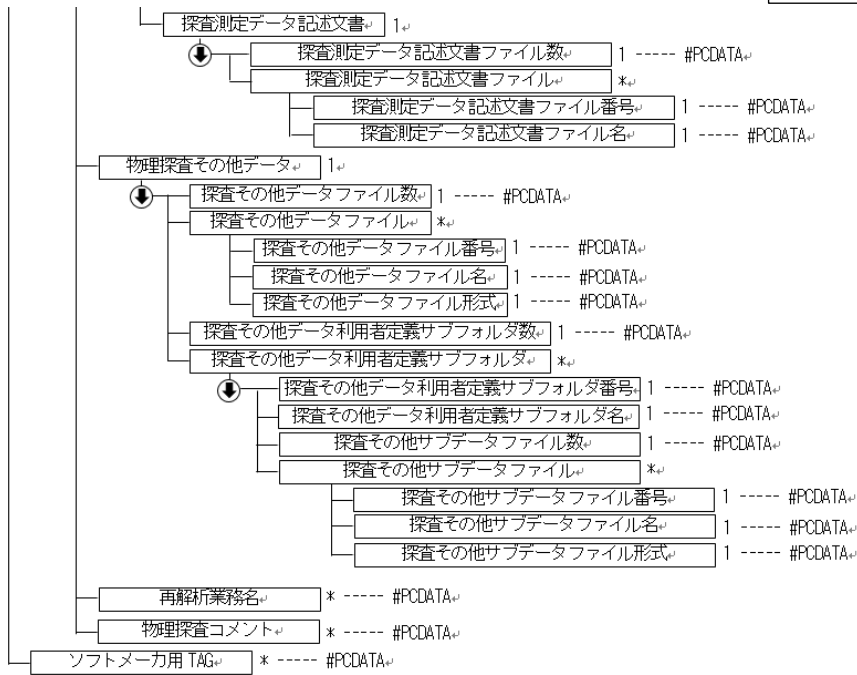
⬇: 上から順に記述することを示す。  
 1: 必ず、1回記述する。  
 ?: 記述は任意。記述する場合は1回に限る。  
 +: 必ず、1回以上記述する。  
 \*: 記述は任意。複数の記述を認める。

\*次頁に続く



\*次頁に続く

↓: 上から順に記述することを示す。  
 1: 必ず、1回記述する。  
 ?: 記述は任意。記述する場合は1回に限る。  
 +: 必ず、1回以上記述する。  
 \*: 記述は任意。複数の記述を認める。



⬇️: 上から順に記述することを示す。  
 1: 必ず、1回記述する。  
 ?: 記述は任意。記述する場合は1回に限る。  
 +: 必ず、1回以上記述する。  
 \*: 記述は任意。複数の記述を認める。

## 2 物理探査情報管理ファイルの DTD

```

<!--*****-->
<!-- GPS0100.DTD DTD バージョン 1.00 -->
<!--*****-->

<!ELEMENT GEOPHYS (基礎情報, 物理探査情報数, 物理探査情報+, ソフトメーカ用 TAG*)>
<!ATTLIST GEOPHYS DTD_version CDATA #FIXED "1.00">
<!--*****-->
<!-- 基礎情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 基礎情報 (適用要領基準)>
<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報数 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査情報数 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査情報 (物理探査情報番号, 測線名, 測線連番, 測線長, 測点間隔, 測点数,
    測線始点経度, 測線始点緯度, 測線始点標高,
    測線終点経度, 測線終点緯度, 測線終点標高,
    測線中間点緯度経度数, 測線中間点*,
    測地系, 取得方法コード, 読み取り精度,
    測定開始年月日, 測定終了年月日,
    物理探査方法名, 物理探査方式名, 物理探査解析方式名,
    物理探査交換用断面データ, 物理探査平面データ,
    物理探査解析データ, 物理探査測定原データ, 物理探査その他データ,
    再解析業務名*, 物理探査コメント*)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 物理探査情報番号 -->
<!-- 測線名 -->
<!-- 測線連番 -->
<!-- 測線長 -->
<!-- 測点間隔 -->
<!-- 測点数 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査情報番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線連番 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線長 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測点間隔 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測点数 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 測線始点経度 -->
<!-- 測線始点緯度 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 測線始点経度 (始点経度_度, 始点経度_分, 始点経度_秒)>
<!ELEMENT 始点経度_度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 始点経度_分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 始点経度_秒 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線始点緯度 (始点緯度_度, 始点緯度_分, 始点緯度_秒)>
<!ELEMENT 始点緯度_度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 始点緯度_分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 始点緯度_秒 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線始点標高 (#PCDATA)>

```

```
<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 測線終点経度 -->
<!-- 測線終点緯度 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 測線終点経度 (終点経度_度, 終点経度_分, 終点経度_秒)>
<!ELEMENT 終点経度_度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点経度_分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点経度_秒 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線終点緯度 (終点緯度_度, 終点緯度_分, 終点緯度_秒)>
<!ELEMENT 終点緯度_度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点緯度_分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点緯度_秒 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線終点標高 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 測線中間点緯度経度数 -->
<!-- 測線中間点 -->
<!-- 測線中間点番号 -->
<!-- 測線中間点経度 -->
<!-- 測線中間点緯度 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 測線中間点緯度経度数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線中間点 (測線中間点番号, 測線中間点経度, 測線中間点緯度, 測線中間点標高)>
<!ELEMENT 測線中間点番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線中間点経度 (中間点経度_度, 中間点経度_分, 中間点経度_秒)>
<!ELEMENT 中間点経度_度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 中間点経度_分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 中間点経度_秒 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線中間点緯度 (中間点緯度_度, 中間点緯度_分, 中間点緯度_秒)>
<!ELEMENT 中間点緯度_度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 中間点緯度_分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 中間点緯度_秒 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測線中間点標高 (#PCDATA)>
<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 測地系 -->
<!-- 取得方法コード -->
<!-- 読み取り精度 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 測地系 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 取得方法コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 読み取り精度 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 測定開始年月日 -->
<!-- 測定終了年月日 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 測定開始年月日 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測定終了年月日 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 物理探査方法名 -->
<!-- 物理探査方式名 -->
<!-- 物理探査解析方式名 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査方法名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 物理探査方式名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 物理探査解析方式名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
```

```

<!-- 物理探査交換用断面データ SECT サブフォルダ -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査交換用断面データ (探査交換用断面データファイル名?,
                                     探査交換用断面データ作成ソフトウェア名?)>
<!ELEMENT 探査交換用断面データファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査交換用断面データ作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 物理探査平面データ DRAW サブフォルダ -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査平面データ (探査平面データファイル名?,
                               探査平面データ作成ソフトウェア名?)>
<!ELEMENT 探査平面データファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査平面データ作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 物理探査解析データ PROC サブフォルダ -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査解析データ (探査解析データ情報ファイル名?,
                               探査解析データファイル数, 探査解析データファイル*,
                               探査解析利用者定義サブフォルダ数,
                               探査解析利用者定義サブフォルダ* )>
<!ELEMENT 探査解析データ情報ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析データファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析データファイル (探査解析データファイル番号,
                                     探査解析データファイル名,
                                     探査解析データファイル形式 )>
<!ELEMENT 探査解析データファイル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析データファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析データファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析利用者定義サブフォルダ数 (#PCDATA)>
<!--*****-->
<!-- PROC/利用者定義 サブフォルダ -->
<!ELEMENT 探査解析利用者定義サブフォルダ (探査解析利用者定義サブフォルダ番号,
                                             探査解析利用者定義サブフォルダ名,
                                             探査解析サブデータファイル数,
                                             探査解析サブデータファイル*)>
<!ELEMENT 探査解析利用者定義サブフォルダ番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析利用者定義サブフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析サブデータファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析サブデータファイル (探査解析サブデータファイル番号,
                                         探査解析サブデータファイル名,
                                         探査解析サブデータファイル形式)>
<!ELEMENT 探査解析サブデータファイル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析サブデータファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査解析サブデータファイル形式 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 物理探査測定原データ ORGDATA サブフォルダ -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査測定原データ (探査測定解析記録, 探査測定原データ,
                                  探査測定データ記述文書 )>
<!--*****-->
<!-- ORGDATA/FLDINFO サブフォルダ -->
<!ELEMENT 探査測定解析記録 (探査測定解析記録ファイル名,
                              探査測定解析記録追加ファイル数,
                              探査測定解析記録追加ファイル* )>
<!ELEMENT 探査測定解析記録ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定解析記録追加ファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定解析記録追加ファイル (探査測定解析記録追加ファイル番号,
                                           探査測定解析記録追加ファイル名)>

```



```

<!ELEMENT 探査測定解析記録追加ファイル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定解析記録追加ファイル名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- ORGDATA/FLDDATA サブフォルダ -->
<!ELEMENT 探査測定原データ (探査測定原データファイル数, 探査測定原データファイル*,
                             探査測定原データ利用者定義サブフォルダ数,
                             探査測定原データ利用者定義サブフォルダ* )>
<!ELEMENT 探査測定原データファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定原データファイル (探査測定原データファイル番号,
                                       探査測定原データファイル名,
                                       探査測定原データファイル形式 )>
<!ELEMENT 探査測定原データファイル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定原データファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定原データファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定原データ利用者定義サブフォルダ数 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- ORGDATA/FLDDATA/利用者定義 サブフォルダ -->
<!ELEMENT 探査測定原データ利用者定義サブフォルダ (探査測定原データ利用者定義サブフォルダ番号,
                                                       探査測定原データ利用者定義サブフォルダ名,
                                                       探査測定サブ原データファイル数,
                                                       探査測定サブ原データファイル*)>
<!ELEMENT 探査測定原データ利用者定義サブフォルダ番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定原データ利用者定義サブフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定サブ原データファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定サブ原データファイル (探査測定サブ原データファイル番号,
                                           探査測定サブ原データファイル名,
                                           探査測定サブ原データファイル形式)>
<!ELEMENT 探査測定サブ原データファイル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定サブ原データファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定サブ原データファイル形式 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- ORGDATA/DOC サブフォルダ -->
<!ELEMENT 探査測定データ記述文書 (探査測定データ記述文書ファイル数,
                                    探査測定データ記述文書ファイル*)>
<!ELEMENT 探査測定データ記述文書ファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定データ記述文書ファイル (探査測定データ記述文書ファイル番号,
                                              探査測定データ記述文書ファイル名)>
<!ELEMENT 探査測定データ記述文書ファイル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査測定データ記述文書ファイル名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 物理探査その他データ ETCDATA サブフォルダ -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物理探査その他データ (探査その他データファイル数,
                                  探査その他データファイル*,
                                  探査その他データ利用者定義サブフォルダ数,
                                  探査その他データ利用者定義サブフォルダ* )>
<!ELEMENT 探査その他データファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他データファイル (探査その他データファイル番号,
                                       探査その他データファイル名,
                                       探査その他データファイル形式)>
<!ELEMENT 探査その他データファイル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他データファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他データファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他データ利用者定義サブフォルダ数 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- ETCDATA/利用者定義 サブフォルダ -->
<!ELEMENT 探査その他データ利用者定義サブフォルダ (探査その他データ利用者定義サブフォルダ番号,
                                                       探査その他データ利用者定義サブフォルダ名,
                                                       探査その他サブデータファイル数,

```

```

                                     探査その他サブデータファイル*)>
<!ELEMENT 探査その他データ利用者定義サブフォルダ番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他データ利用者定義サブフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他サブデータファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他サブデータファイル (探査その他サブデータファイル番号,
                                     探査その他サブデータファイル名,
                                     探査その他サブデータファイル形式)>
<!ELEMENT 探査その他サブデータファイル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他サブデータファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査その他サブデータファイル形式 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 物理探査情報 -->
<!-- 物理探査コメント -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 再解析業務名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 物理探査コメント (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- コメント -->
<!--*****-->
<!ELEMENT コメント (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>
```

### 3 物理探査情報管理 XML ファイルの例

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE GEOPHYS SYSTEM "GPS0100.DTD">
<GEOPHYS DTD_version="1.00">

  <基礎情報>
    <適用要領基準>土木 201610-01</適用要領基準>
  </基礎情報>

  <物理探査情報数>1</物理探査情報数>
  <物理探査情報>

    <物理探査情報番号>01</物理探査情報番号>
    <測線名>L01</測線名>
    <測線連番>1</測線連番>
    <測線長>580</測線長>
    <測点間隔>5</測点間隔>
    <測点数>117</測点数>
    <測線始点経度>
      <始点経度_度>130</始点経度_度>
      <始点経度_分>17</始点経度_分>
      <始点経度_秒>1.76</始点経度_秒>
    </測線始点経度>
    <測線始点緯度>
      <始点緯度_度>31</始点緯度_度>
      <始点緯度_分>48</始点緯度_分>
      <始点緯度_秒>15.80</始点緯度_秒>
    </測線始点緯度>
    <測線始点標高>123.80</測線始点標高>

    <測線終点経度>
      <終点経度_度>130</終点経度_度>
      <終点経度_分>17</終点経度_分>
      <終点経度_秒>10.15</終点経度_秒>
    </測線終点経度>
    <測線終点緯度>
      <終点緯度_度>31</終点緯度_度>
      <終点緯度_分>47</終点緯度_分>
      <終点緯度_秒>58.39</終点緯度_秒>
    </測線終点緯度>
    <測線終点標高>201.12</測線終点標高>

    <測線中間点緯度経度数>0</測線中間点緯度経度数>
    <測線中間点>
      <測線中間点番号></測線中間点番号>
      <測線中間点経度>
        <中間点経度_度/>
        <中間点経度_分/>
        <中間点経度_秒/>
      </測線中間点経度>
      <測線中間点緯度>
        <中間点緯度_度/>
        <中間点緯度_分/>
        <中間点緯度_秒/>
      </測線中間点緯度>
      <測線中間点標高/>
    </測線中間点>

    <測地系>01</測地系>
    <取得方法コード>01</取得方法コード>
    <読み取り精度>2</読み取り精度>
    <測定開始年月日>2006-10-27</測定開始年月日>
```

<測定終了年月日>2006-11-04</測定終了年月日>  
<物理探査方法名>弾性波探査屈折法</物理探査方法名>  
<物理探査方式名>トモグラフィ解析</物理探査方式名>  
<物理探査解析方式名>最小二乗法</物理探査解析方式名>

<物理探査交換用断面データ>  
  <探査交換用断面データファイル名>SCT0001.XML</探査交換用断面データファイル名>  
  <探査交換用断面データ作成ソフトウェア名>  
    GeoEXViewer Version 1.1.0.0  
  </探査交換用断面データ作成ソフトウェア名>  
</物理探査交換用断面データ>

<物理探査平面データ>  
  <探査平面データファイル名/>  
  <探査平面データ作成ソフトウェア名/>  
</物理探査平面データ>

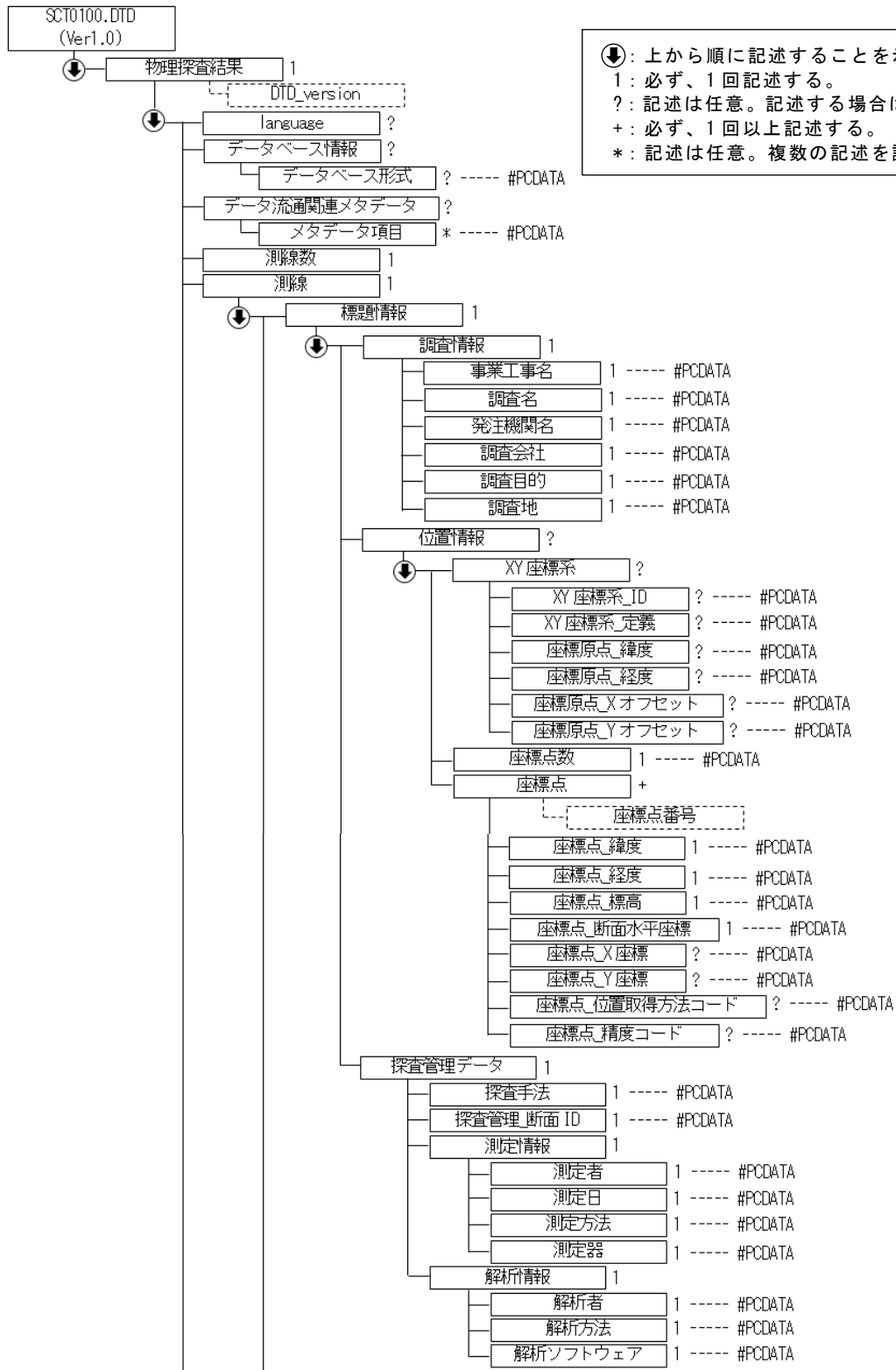
<物理探査解析データ>  
  <探査解析データ情報ファイル名>PROCINFO.PDF</探査解析データ情報ファイル名>  
  <探査解析データファイル数/>  
  <探査解析データファイル>  
    <探査解析データファイル番号/>  
    <探査解析データファイル名/>  
    <探査解析データファイル形式/>  
  </探査解析データファイル>  
  <探査解析利用者定義サブフォルダ数>2</探査解析利用者定義サブフォルダ数>  
  <探査解析利用者定義サブフォルダ>  
    <探査解析利用者定義サブフォルダ番号>01</探査解析利用者定義サブフォルダ番号>  
    <探査解析利用者定義サブフォルダ名>AWAV0101</探査解析利用者定義サブフォルダ名>  
    <探査解析サブデータファイル数>2</探査解析サブデータファイル数>  
    <探査解析サブデータファイル>  
      <探査解析サブデータファイル番号>01</探査解析サブデータファイル番号>  
      <探査解析サブデータファイル名>WV001001.PDF</探査解析サブデータファイル名>  
      <探査解析サブデータファイル形式>PDF</探査解析サブデータファイル形式>  
    </探査解析サブデータファイル>  
    <探査解析サブデータファイル>  
      <探査解析サブデータファイル番号>02</探査解析サブデータファイル番号>  
      <探査解析サブデータファイル名>WV001002</探査解析サブデータファイル名>  
      <探査解析サブデータファイル形式>PDF</探査解析サブデータファイル形式>  
    </探査解析サブデータファイル>  
  </探査解析利用者定義サブフォルダ>  
  <探査解析利用者定義サブフォルダ>  
    <探査解析利用者定義サブフォルダ番号>02</探査解析利用者定義サブフォルダ番号>  
    <探査解析利用者定義サブフォルダ名>ATRV0000</探査解析利用者定義サブフォルダ名>  
    <探査解析サブデータファイル数>1</探査解析サブデータファイル数>  
    <探査解析サブデータファイル>  
      <探査解析サブデータファイル番号>01</探査解析サブデータファイル番号>  
      <探査解析サブデータファイル名>TRAV0001.PDF</探査解析サブデータファイル名>  
      <探査解析サブデータファイル形式>PDF</探査解析サブデータファイル形式>  
    </探査解析サブデータファイル>  
  </探査解析利用者定義サブフォルダ>  
</物理探査解析データ>

<物理探査測定原データ>  
  <探査測定解析記録>  
    <探査測定解析記録ファイル名>FINF0001.PDF</探査測定解析記録ファイル名>  
    <探査測定解析記録追加ファイル数>1</探査測定解析記録追加ファイル数>  
    <探査測定解析記録追加ファイル>  
      <探査測定解析記録追加ファイル番号>01</探査測定解析記録追加ファイル番号>  
      <探査測定解析記録追加ファイル名>SHOTDATA.PDF</探査測定解析記録追加ファイル名>  
    </探査測定解析記録追加ファイル>  
  </探査測定解析記録>  
  <探査測定原データ>  
    <探査測定原データファイル数>2</探査測定原データファイル数>  
    <探査測定原データファイル>  
      <探査測定原データファイル番号>01</探査測定原データファイル番号>

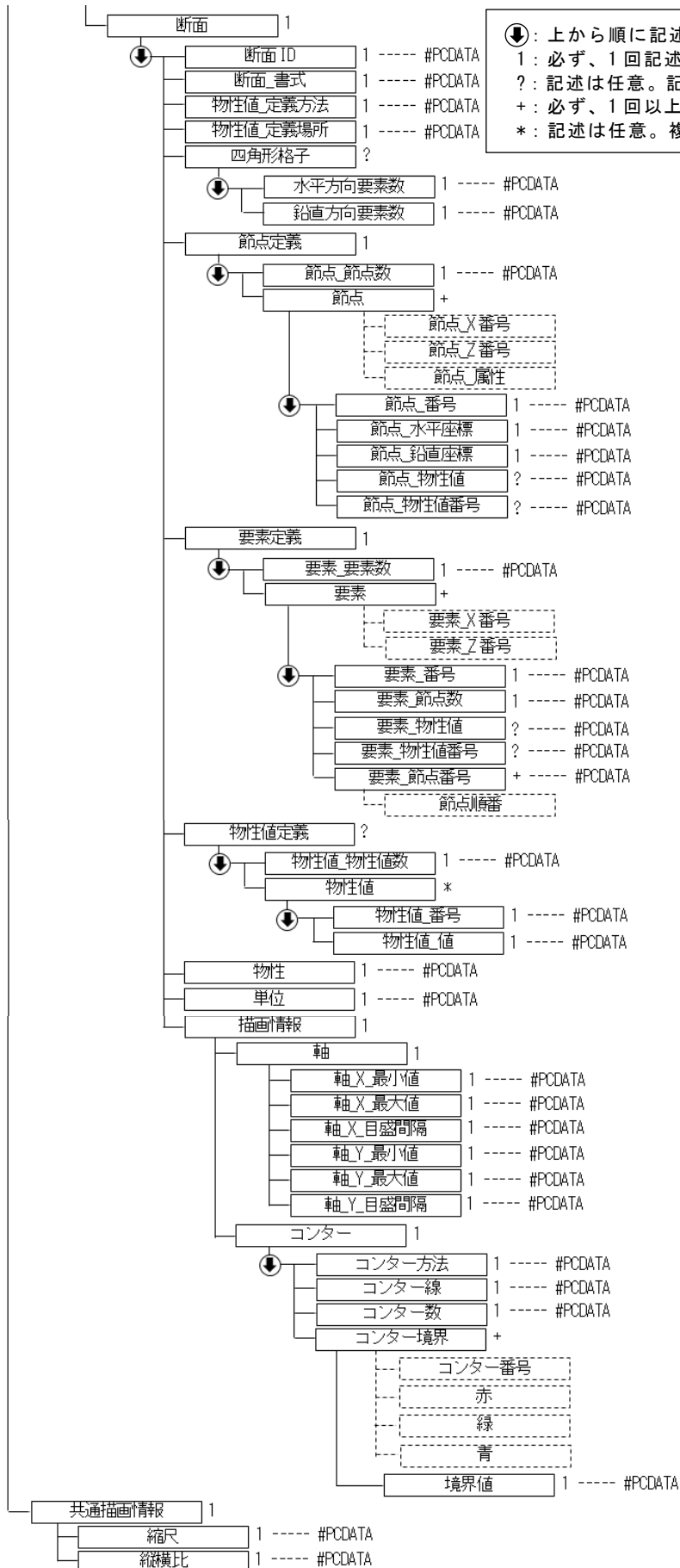
<探査測定原データファイル名>XXXX0001.ORG</探査測定原データファイル名>  
<探査測定原データファイル形式>ORG</探査測定原データファイル形式>  
</探査測定原データファイル>  
<探査測定原データファイル>  
<探査測定原データファイル番号>02</探査測定原データファイル番号>  
<探査測定原データファイル名>XXXX0002.ORG</探査測定原データファイル名>  
<探査測定原データファイル形式>ORG</探査測定原データファイル形式>  
</探査測定原データファイル>  
<探査測定原データ利用者定義サブフォルダ数>0</探査測定原データ利用者定義サブフォルダ数>  
<探査測定原データ利用者定義サブフォルダ>  
<探査測定原データ利用者定義サブフォルダ番号/>  
<探査測定原データ利用者定義サブフォルダ名/>  
<探査測定サブ原データファイル数/>  
<探査測定サブ原データファイル>  
<探査測定サブ原データファイル番号/>  
<探査測定サブ原データファイル名/>  
<探査測定サブ原データファイル形式/>  
</探査測定サブ原データファイル>  
<探査測定原データ利用者定義サブフォルダ>  
</探査測定原データ>  
<探査測定データ記述文書>  
<探査測定データ記述文書ファイル数>1</探査測定データ記述文書ファイル数>  
<探査測定データ記述文書ファイル>  
<探査測定データ記述文書ファイル番号>01</探査測定データ記述文書ファイル番号>  
<探査測定データ記述文書ファイル名>XXXXX.PDF</探査測定データ記述文書ファイル名>  
</探査測定データ記述文書ファイル>  
<探査測定データ記述文書>  
</物理探査測定原データ>  
  
<物理探査その他データ>  
<探査その他データファイル数/>  
<探査その他データファイル>  
<探査その他データファイル番号/>  
<探査その他データファイル名/>  
<探査その他データファイル形式/>  
</探査その他データファイル>  
<探査その他データ利用者定義サブフォルダ数/>  
<探査その他データ利用者定義サブフォルダ>  
<探査その他データ利用者定義サブフォルダ番号/>  
<探査その他データ利用者定義サブフォルダ名/>  
<探査その他サブデータファイル数/>  
<探査その他サブデータファイル>  
<探査その他サブデータファイル番号/>  
<探査その他サブデータファイル名/>  
<探査その他サブデータファイル形式/>  
</探査その他サブデータファイル>  
<探査その他データ利用者定義サブフォルダ>  
</物理探査その他データ>  
  
<再解析業務名/>  
<物理探査コメント>〇〇〇にて探査</物理探査コメント>  
</物理探査情報>  
  
<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>  
</GEOPHYS>

付属資料 2 物理探査交換用物性断面ファイル

1 物理探査交換用物性断面ファイルの構造



\*次頁に続く



↓: 上から順に記述することを示す。  
 1: 必ず、1回記述する。  
 ?: 記述は任意。記述する場合は1回に限る。  
 +: 必ず、1回以上記述する。  
 \*: 記述は任意。複数の記述を認める。

## 2 物理探査交換用物性断面ファイルの DTD

```

<!ELEMENT 物理探査結果 ( language?, データベース情報?, データ流通関連メタデータ?, 測線数,
                        測線, 共通描画情報 ) >
<!ATTLIST 物理探査結果
DTD_version CDATA #REQUIRED>

<!--*****-->
<!-- 物理探査結果 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT language (#PCDATA)>
<!ELEMENT データベース情報 ( データベース形式? )>
<!ELEMENT データ流通関連メタデータ ( メタデータ項目* )>
<!ELEMENT 測線数 (#PCDATA) >
<!ELEMENT 測線 ( 標題情報, 断面 )>
<!ELEMENT 共通描画情報 ( 縮尺, 縦横比 ) >

<!--*****-->
<!-- データベース情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT データベース形式 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- データ流通関連メタデータ -->
<!--*****-->
<!ELEMENT メタデータ項目 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 測線 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 標題情報 ( 調査情報, 位置情報?, 探査管理データ )>
<!ELEMENT 断面 ( 断面ID, 断面_書式, 物性値_定義方法, 物性値_定義場所, 四角形格子?, 節点定義,
                要素定義, 物性値定義?, 物性, 単位, 描画情報 )>

<!--*****-->
<!-- 標題情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 調査情報 ( 事業工事名, 調査名, 発注機関名, 調査会社, 調査目的, 調査地 )>
<!ELEMENT 位置情報 ( XY座標系?, 座標点数, 座標点+ )>
<!ELEMENT 探査管理データ ( 探査手法, 探査管理_断面ID, 測定情報, 解析情報 )>

<!--*****-->
<!-- 調査情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 事業工事名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 調査名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注機関名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 調査会社 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 調査目的 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 調査地 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 位置情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT XY座標系 ( XY座標系_ID?, XY座標系_座標定義?, 座標原点_緯度?, 座標原点_経度?,
                    座標原点_Xオフセット?, 座標原点_Yオフセット? )>
<!ELEMENT 座標点数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標点 ( 座標点_緯度, 座標点_経度, 座標点_標高, 座標点_断面水平座標, 座標点_X座標?,
                    座標点_Y座標?, 座標点_位置取得方法コード?, 座標点_精度コード? )>
<!ATTLIST 座標点
座標点番号 CDATA #IMPLIED>

<!--*****-->
<!-- XY座標系 -->

```



```

<!--*****-->
<!ELEMENT XY座標系_ID (#PCDATA)>
<!ELEMENT XY座標系_座標定義 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標原点_緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標原点_経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標原点_Xオフセット (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標原点_Yオフセット (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 座標点 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 座標点_緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標点_経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標点_標高 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標点_断面水平座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標点_X座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標点_Y座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標点_位置取得方法コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 座標点_精度コード (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 探査管理データ -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 探査手法 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 探査管理_断面ID (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測定情報 (測定者, 測定日, 測定方法, 測定器 )>
<!ELEMENT 解析情報 (解析者, 解析方法, 解析ソフトウェア )>

<!--*****-->
<!-- 測定情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 測定者 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測定日 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測定方法 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測定器 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 解析情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 解析者 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 解析方法 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 解析ソフトウェア (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 断面 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 断面ID (#PCDATA)>
<!ELEMENT 断面_書式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 物性値_定義方法 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 物性値_定義場所 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 四角形格子 ( 水平方向要素数, 鉛直方向要素数 )>
<!ELEMENT 節点定義 (節点_節点数, 節点+ )>
<!ELEMENT 要素定義 (要素_要素数, 要素+ )>
<!ELEMENT 物性値定義 (物性値_物性値数, 物性値*)>
<!ELEMENT 物性 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 単位 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 描画情報 (軸, コンター )>

<!--*****-->
<!-- 四角形格子 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 水平方向要素数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 鉛直方向要素数 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 節点定義 -->

```

```

<!--*****-->
<!ELEMENT 節点_節点数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 節点 (節点_番号, 節点_水平座標, 節点_鉛直座標, 節点_物性値?,
    節点_物性値番号?)>
<!ATTLIST 節点
    節点_X番号 CDATA #IMPLIED
    節点_Z番号 CDATA #IMPLIED
    節点_属性 CDATA #IMPLIED>

<!--*****-->
<!-- 節点 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 節点_番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 節点_水平座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 節点_鉛直座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 節点_物性値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 節点_物性値番号 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 要素定義 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 要素_要素数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 要素 (要素_番号, 要素_節点数, 要素_物性値?, 要素_物性値番号?,
    要素_節点番号+)>
<!ATTLIST 要素
    要素_X番号 CDATA #IMPLIED
    要素_Z番号 CDATA #IMPLIED>

<!--*****-->
<!-- 要素 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 要素_番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 要素_節点数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 要素_物性値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 要素_物性値番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 要素_節点番号 (#PCDATA)>
<!ATTLIST 要素_節点番号
    節点順序 CDATA #IMPLIED>

<!--*****-->
<!-- 物性値定義 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物性値_物性値数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 物性値 (物性値_番号, 物性値_値)>

<!--*****-->
<!-- 物性値 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 物性値_番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 物性値_値 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!-- 描画情報 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 軸 (軸_X最小値, 軸_X最大値, 軸_X目盛間隔,
    軸_Y最小値, 軸_Y最大値, 軸_Y目盛間隔)>
<!ELEMENT コンター (コンター方法, コンター線, コンター数, コンター境界+)>

<!--*****-->
<!-- 軸 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 軸_X最小値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 軸_X最大値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 軸_X目盛間隔 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 軸_Y最小値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 軸_Y最大値 (#PCDATA)>

```

```
<!ELEMENT 軸_Y_目盛間隔 (#PCDATA)>

<!--***** -->
<!-- コンター -->
<!--***** -->
<!ELEMENT コンター方法 (#PCDATA)>
<!ELEMENT コンター線 (#PCDATA)>
<!ELEMENT コンター数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT コンター境界 (境界値)>
<!ATTLIST コンター境界
  コンター番号 CDATA #IMPLIED
  赤 CDATA #IMPLIED
  緑 CDATA #IMPLIED
  青 CDATA #IMPLIED>

<!--***** -->
<!-- コンター境界 -->
<!--***** -->
<!ELEMENT 境界値 (#PCDATA)>

<!--***** -->
<!-- 共通描画情報 -->
<!--***** -->
<!ELEMENT 縮尺 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 縦横比 (#PCDATA)>
```

## 文 献

土木研究所(2010)：地盤物性断面表示プログラム設計業務報告書，

<http://www.kunijiban.pwri.go.jp/jp/geophysics/format/>.

林宏一・稲崎富士・倉橋稔幸・物理探査書式検討研究委員会(2010)：土木地質調査分野における物理探査結果の標準書式の提案，物理探査学会第 123 回学術講演会講演論文集,13-16.

### 3 物理探査交換用物性断面 XML ファイルの例

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!--物理探査結果二次元断面共通書式-->
<!DOCTYPE 物理探査結果 SYSTEM "SCT0100.DTD">
<物理探査結果 DTD_version="1.00">
<language>日本語</language>
<データベース情報>
  <データベース形式>PRWI.STANDARD.FORMAT.2011.01</データベース形式>
</データベース情報>
<測線数>1</測線数>
<測線>
  <標題情報>
    <調査情報>
      <事業工事名>平成 25 年〇〇河川堤防地質調査</事業工事名>
      <調査名>河川堤防物理探査</調査名>
      <発注機関名>△△地方整備局〇〇河川工事事務所</発注機関名>
      <調査会社>□□地質調査株式会社</調査会社>
      <調査目的>河川堤防</調査目的>
      <調査地>〇〇川〇〇地先</調査地>
    </調査情報>
    <位置情報>
      <座標点数>2</座標点数>
      <座標点 座標点番号="0">
        <座標点_緯度>34.5454</座標点_緯度>
        <座標点_経度>132.1624</座標点_経度>
        <座標点_標高>10.56</座標点_標高>
        <座標点_断面水平座標>0.0</座標点_断面水平座標>
      </座標点>
      <座標点 座標点番号="1">
        <座標点_緯度>34.5470</座標点_緯度>
        <座標点_経度>132.1592</座標点_経度>
        <座標点_標高>11.01</座標点_標高>
        <座標点_断面水平座標>1000.0</座標点_断面水平座標>
      </座標点>
    </位置情報>
    <探査管理データ>
      <探査手法>表面波探査</探査手法>
      <探査管理_断面 ID>1</探査管理_断面 ID>
    <測定情報>
      <測定者>〇〇一郎</測定者>
      <測定日>19990126</測定日>
      <測定方法>ランドストリーマ</測定方法>
      <測定器>SeisLoggerMark2</測定器>
    </測定情報>
    <解析情報>
      <解析者>〇〇一郎</解析者>
      <解析方法>非線形最小二乗法</解析方法>
      <解析ソフトウェア>SurfaceAna</解析ソフトウェア>
    </解析情報>
  </探査管理データ>
</標題情報>

```

<断面>

```
<断面 ID>1</断面 ID>
<断面_書式>四角形格子</断面_書式>
<物性値_定義方法>要素</物性値_定義方法>
<物性値_定義場所>要素定義</物性値_定義場所>
<四角形格子>
  <水平方向要素数>34</水平方向要素数>
  <鉛直方向要素数>21</鉛直方向要素数>
</四角形格子>
<節点定義>
  <節点_節点数>770</節点_節点数>
  <節点_節点_X番号="0" 節点_Z番号="0" 節点_属性="地表">
    <節点_番号>0</節点_番号>
    <節点_水平座標>0.000000</節点_水平座標>
    <節点_鉛直座標>3.240000</節点_鉛直座標>
  </節点>
  <節点_節点_X番号="0" 節点_Z番号="1">
    <節点_番号>1</節点_番号>
    <節点_水平座標>0.000000</節点_水平座標>
    <節点_鉛直座標>2.720625</節点_鉛直座標>
  </節点>
  <節点_節点_X番号="0" 節点_Z番号="2">
    <節点_番号>2</節点_番号>
    <節点_水平座標>0.000000</節点_水平座標>
    <節点_鉛直座標>1.681875</節点_鉛直座標>
  </節点>
  <節点_節点_X番号="0" 節点_Z番号="3">
    <節点_番号>3</節点_番号>
    <節点_水平座標>0.000000</節点_水平座標>
    <節点_鉛直座標>0.643125</節点_鉛直座標>
  </節点>
  . . . . .
  <節点_鉛直座標>-39.388748</節点_鉛直座標>
</節点>
<節点_節点_X番号="34" 節点_Z番号="21">
  <節点_番号>769</節点_番号>
  <節点_水平座標>170.000000</節点_水平座標>
  <節点_鉛直座標>-59.388748</節点_鉛直座標>
</節点>
</節点定義>
<要素定義>
  <要素_要素数>714</要素_要素数>
  <要素_要素_X番号="0" 要素_Z番号="0">
    <要素_番号>0</要素_番号>
    <要素_節点数>4</要素_節点数>
    <要素_物性値>0.300000</要素_物性値>
    <要素_節点番号_節点順序="0">0</要素_節点番号>
    <要素_節点番号_節点順序="1">1</要素_節点番号>
    <要素_節点番号_節点順序="2">23</要素_節点番号>
    <要素_節点番号_節点順序="3">22</要素_節点番号>
  </要素>
  <要素_要素_X番号="0" 要素_Z番号="1">
```

```
<要素_番号>1</要素_番号>
<要素_節点数>4</要素_節点数>
<要素_物性値>0.467208</要素_物性値>
<要素_節点番号 節点順番="0">1</要素_節点番号>
<要素_節点番号 節点順番="1">2</要素_節点番号>
<要素_節点番号 節点順番="2">24</要素_節点番号>
<要素_節点番号 節点順番="3">23</要素_節点番号>
</要素>
<要素 要素_X 番号="0" 要素_Z 番号="2">
  <要素_番号>2</要素_番号>
  . . . . .
  <要素_節点数>4</要素_節点数>
  <要素_物性値>3.400000</要素_物性値>
  <要素_節点番号 節点順番="0">744</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="1">745</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="2">767</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="3">766</要素_節点番号>
</要素>
<要素 要素_X 番号="33" 要素_Z 番号="19">
  <要素_番号>712</要素_番号>
  <要素_節点数>4</要素_節点数>
  <要素_物性値>3.400000</要素_物性値>
  <要素_節点番号 節点順番="0">745</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="1">746</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="2">768</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="3">767</要素_節点番号>
</要素>
<要素 要素_X 番号="33" 要素_Z 番号="20">
  <要素_番号>713</要素_番号>
  <要素_節点数>4</要素_節点数>
  <要素_物性値>3.400000</要素_物性値>
  <要素_節点番号 節点順番="0">746</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="1">747</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="2">769</要素_節点番号>
  <要素_節点番号 節点順番="3">768</要素_節点番号>
</要素>
</要素定義>
<物性>P 波速度</物性>
<単位>(km/sec)</単位>
<描画情報>
  <軸>
    <軸_X_最小値>0.000000</軸_X_最小値>
    <軸_X_最大値>170.000000</軸_X_最大値>
    <軸_X_目盛間隔>10.000000</軸_X_目盛間隔>
    <軸_Y_最小値>-80.000000</軸_Y_最小値>
    <軸_Y_最大値>40.000000</軸_Y_最大値>
    <軸_Y_目盛間隔>10.000000</軸_Y_目盛間隔>
  </軸>
  <コンター>
    <コンター方法>コンター</コンター方法>
    <コンター線>有</コンター線>
```

<コンター数>20</コンター数>  
<コンター境界 コンター番号="0" 赤="255" 緑="0" 青="255">  
 <境界値>-10000.000000</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="1" 赤="255" 緑="0" 青="150">  
 <境界値>0.300000</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="2" 赤="255" 緑="0" 青="50">  
 <境界値>0.472222</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="3" 赤="255" 緑="50" 青="0">  
 <境界値>0.644444</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="4" 赤="255" 緑="100" 青="0">  
 <境界値>0.816667</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="5" 赤="255" 緑="200" 青="0">  
 <境界値>0.988889</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="6" 赤="255" 緑="220" 青="0">  
 <境界値>1.161111</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="7" 赤="255" 緑="230" 青="0">  
 <境界値>1.333333</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="8" 赤="255" 緑="240" 青="0">  
 <境界値>1.505556</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="9" 赤="240" 緑="255" 青="0">  
 <境界値>1.677778</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="10" 赤="220" 緑="255" 青="0">  
 <境界値>1.850000</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="11" 赤="200" 緑="255" 青="0">  
 <境界値>2.022222</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="12" 赤="180" 緑="255" 青="0">  
 <境界値>2.194444</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="13" 赤="140" 緑="255" 青="0">  
 <境界値>2.366667</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="14" 赤="100" 緑="255" 青="20">  
 <境界値>2.538889</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="15" 赤="60" 緑="255" 青="40">  
 <境界値>2.711111</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="16" 赤="20" 緑="255" 青="60">  
 <境界値>2.883333</境界値>  
</コンター境界>

```
<コンター境界 コンター番号="17" 赤="0" 緑="255" 青="80">  
  <境界値>3.055556</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="18" 赤="0" 緑="220" 青="100">  
  <境界値>3.227778</境界値>  
</コンター境界>  
<コンター境界 コンター番号="19" 赤="0" 緑="190" 青="120">  
  <境界値>3.399000</境界値>  
</コンター境界>  
</コンター>  
</描画情報>  
</断面>  
</測線>  
<共通描画情報>  
  <縮尺>1000.000000</縮尺>  
  <縦横比>1.000000</縦横比>  
</共通描画情報>  
</物理探査結果>
```



付属資料 3 物理探査電子納品適用資料

1 測線連番の割り当て例

測線連番は、物理探査成果のファイルを識別する番号であり、ボーリング連番と同じ役割を果す。測線連番は、物理探査を実施した測線を 1 から始まる連続する番号で割り当てたものである。以下、いくつかの場合について、測線連番の割り当て例を示す。

- 弾性波探査屈折法、電気探査、表面波探査の場合  
実施した探査が識別できるように番号を割り当てる。

表 1-1 複数の測線で 1 方法の物理探査を実施した場合の例

測線名	測線長	物理探査方法	測線連番
L1	200m	弾性波探査屈折法	1
L2	500m		2
L3	300m		3

表 1-2 複数の測線で複数の物理探査を実施した場合の例

測線名	測線長	物理探査方法	測線連番
L1	200m	弾性波探査屈折法	1
		電気探査	2
L2	500m	弾性波探査屈折法	3
		電気探査	4
L3	300m	弾性波探査屈折法	5
		電気探査	6

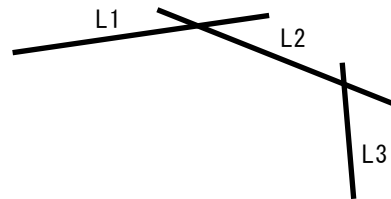


表 1-3 1 測線で 1 方法の物理探査を複数回実施した場合の例

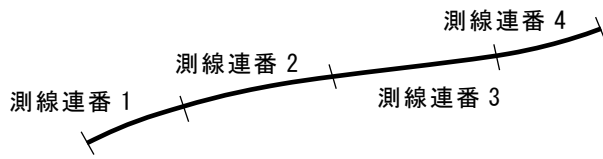
測線名	測線長	探査実施時期	物理探査方法	測線連番
L1	200m	施工前	表面波探査	1
		施工後 1 週目		2
		施工後 3 週目		3

- 地中レーダの場合

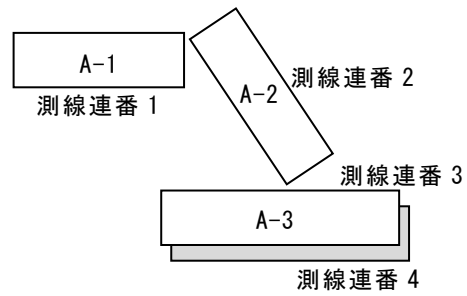
測線連番の割り当ては、原則として弾性波探査屈折法などの場合と同じとする。しかし、以下のような場合については、表に示すようにする（図 4-1）。

表 1-4 測線長が長くて 1 ファイル（1 成果図面）で納まらない場合の例（図 4-1(a)）

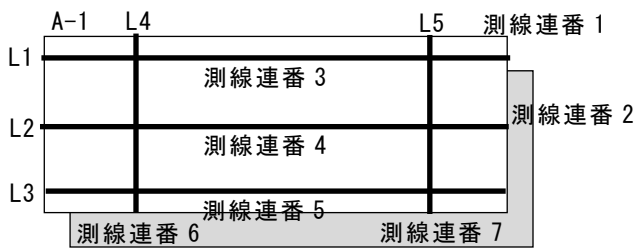
測線名	測線長	区 間	測線連番
○○町～△△町 区間	20km	0～5km	1
		5～9km	2
		9～14km	3
		14～20km	4



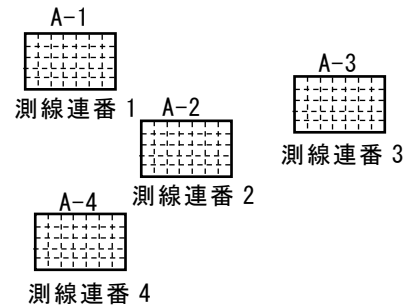
(a) 測線長が長い場合



(b) 一定の範囲の平面となる場合



(c) 平面と断面の場合



(d) 狭い範囲を一括する場合

図 1-1 地中レーダにおける測線連番の例

探査成果が平面となる場合、該当区間に対して測線連番を割り当てる。また、1 区間において、複数深度における解析結果を成果品とする場合、成果とする深度ごとに測線連番を割り当てる。

表 1-5 探査成果が一定の範囲の平面となる場合の例 (図 1-1 (b))

区間名	区間長	区間幅	表示深度	測線連番
A-1	300m	20m	1m	1
A-2	200m	20m	1m	2
A-3	100m	30m	1m	3
			2m	4

一方、地中レーダにおいては、複数の断面測線における探査結果を合成することで、平面の探査成果が作成される。ある範囲における平面と断面の両方を成果とする場合の測線連番は、以下のような方法で割り当てる。

表 1-6 探査成果を一定の範囲の平面と断面の両方とする場合の例（図 1-1(c)）

区間名	区間長	区間幅	表示深度	測線名	測線長	測線区分	測線連番
A-1	200m	20m	1m	—	—	平面	1
			2m	—	—	平面	2
			—	L1	200m	縦断左	3
			—	L2	200m	縦断中央	4
			—	L3	200m	縦断右	5
			—	L4	20m	横断 1	6
			—	L5	20m	横断 2	7

道路や護岸の空洞調査などでは、狭い範囲において多数の測線で探査を実施する。このような場合、該当する範囲で実施した全ての探査を一括して測線連番与える。

表 1-7 探査成果を一括して扱う場合の例（図 1-1(d)）

区間名	区間長	区間幅	測線数	表示深度	測線連番
A-1	10m	20m	20	1m	1
A-2	10m	15m	12	1m	2
A-3	15m	15m	25	1m、2m	3
A-4	5m	10m	10	1m、2m	4

○検層の場合

検層の場合、ボーリング孔を測線と見立てて測線連番の割り当てを行なう。測線連番の割り当ては、原則として弾性波探査屈折法などの場合と同じとする。

表 1-8 複数のボーリング孔で 1 方法の検層を実施した場合の例

ボーリング孔名	検層区間長	検層手法	測線連番
Bor1	20m	速度検層	1
Bor5	35m		2
Bor8	70m		3

表 1-9 複数のボーリング孔で複数の検層を実施した場合の例

ボーリング孔名	検層区間長	検層手法	測線連番
Bor1	200m	速度検層	1
		電気検層	2
Bor2	500m	速度検層	3
		電気検層	4
Bor3	300m	速度検層	5
		電気検層	6

表 1-10 1 ボーリング孔で 1 方法の検層を複数回実施した場合の例

ボーリング孔名	検層区間長	実施時期	検層手法	測線連番
Bor1	40m	施工前	速度検層	1
		施工後 1 週目		2
		施工後 3 週目		3

## 2 物理探査交換用断面データと物理探査平面データの格納概要

適用対象となる物理探査方法における最終成果の格納場所を表 2-1 に示す。「SECT」サブフォルダには、XML 化した断面図あるいは平面図を格納する。「DRAW」サブフォルダには、XML 化できない断面図あるいは平面図を格納する。速度検層については、ボーリング柱状図と組み合わせて、XML 化したファイルを「BORING/DATA」に格納する。

格納するファイルは、1 測線連番に対して 1 ファイルとする。速度検層を除くと、SECT サブフォルダか「DRAW」サブフォルダのいずれかに格納される。

表 2-1 対象物理探査成果の格納場所

方法	収録する成果品	収録サブフォルダ		形式	備考
		SECT	DRAW		
探査	弾性波探査屈折法	速度断面図	○		XML
	電気探査	比抵抗断面図	○		XML
	表面波探査	S 波速度断面図	○		XML
	地中レーダ	記録断面図、記録平面図		○	PDF
検層	速度検層	速度深度分布図	—	—	XML BORING フォルダに収録
	電気検層	見掛け比抵抗深度分布図		○	PDF

「SECT」サブフォルダと「DRAW」サブフォルダに格納するファイルの名称は、下記の規定による。

- ・ 「SECT」サブフォルダに格納するデータのファイル名称  
**SCTNNNN.XML**  
 NNNN は、該当地質・土質調査における測線に割り当てられた連番（測線連番：0001 から開始）を表す。
- ・ 「DRAW」サブフォルダに格納するデータのファイル名称  
**DRWXNNN.PDF**  
 X は、断面と平面を区別する文字で、断面は「S」、平面は「P」、両者の組み合わせは「C」とする。  
 NNN は、該当地質・土質調査における測線に割り当てられた連番（測線連番：001 から開始）を表す。

### 3 納品者定義サブフォルダの作成例

多くのファイルを格納する必要がある場合、格納したファイルの検索、再利用の便宜を図るため、納品者定義サブフォルダの設定を行なう。納品者定義サブフォルダが設定できるのは、表 3-1 に示すサブフォルダである。

表 3-1 納品者定義サブフォルダ

サブフォルダ名		成果品の種類	説明	納品者定義サブフォルダ設定の例	
				サブフォルダ名	収録データの内容
PROC		(3) 物理探査解析データ	測定データを整理・処理した中間的なデータ、図表類を格納。	SR_WAV01	波形図
				SR_TRV00	走時曲線
				RP_APR01	見掛け比抵抗擬似断面
ORGDATA	FLDDATA	(4) 物理探査測定原データ	測定機器からの測定データを格納。  測線測量結果を格納。	SR_ORG01	波形ファイル
				SR_SEG02	波形ファイル
				ZZ_CSV00	地盤高一覧表
ETCDATA		(5) 物理探査その他データ	適用対象外の物理探査成果を格納。	YY_TXT00	重力探査など

「PROC」サブフォルダと「ORGDATA/FLDDATA」サブフォルダの下に設定する納品者定義サブフォルダの命名は任意であるが、他の電子納品要領・基準で使用されているフォルダ名称は用いてはならない。また、以下の例に従うのが望ましい。

- ・ 「PROC」サブフォルダの下に設定する納品者定義サブフォルダの命名例  
 AA\_BBBCC （「\_」はアンダースコア）  
 AA は、物理探査方法を区別する文字で、表 3.2 による。  
 BBB は、サブフォルダに収録するデータによる区分を表す文字列で、表 3-3 による。  
 CC は、該当地質・土質調査における測線に割り振られた連番（測線連番、01 から開始）を表す。測線連番による区別を行わない場合、「00」とする。
  
- ・ 「ORGDATA/FLDDATA」サブフォルダの下に設定する納品者定義サブフォルダの命名例  
 AA\_DDDCC （「\_」はアンダースコア）  
 AA は、物理探査方法を区別する文字で、表 3-2 による。  
 DDD は、サブフォルダに収録するファイルの拡張子とする。拡張子が 4 文字の場合は、頭から 3 文字とする。拡張子で区別しない場合、「XXX」とする。表 3-4 に、ファイルの拡張子の例を示す。  
 CC は、該当地質・土質調査における測線に割り振られた連番（測線連番、01 から開

始)を表す。測線連番による区別を行わない場合、「00」とする。

表 3-2 物理探査方法を区分する文字列 (例)

方法	区分文字列
弾性波探査屈折法 (Seismic Refraction)	SR
電気探査 (Resistivity Prospecting)	RP
表面波探査 (Multi-channel Surface wave survey)	MS
地中レーダ (Ground penetrating Rader)	GR
速度検層 (Velocity Logging)	VL
電気検層 (Electrical Logging)	EL
物理探査方法で区別しない場合	XX
その他の物理探査	YY
測線測量結果を収録する場合	ZZ

表 3-3 収録するデータを区分する文字列 (例)

方法	収録するデータ	区分文字列
弾性波探査屈折法	走時曲線・走時一覧表	TRV
	波形図	WAV
	解析結果出力図・解析入力テキストデータ・解析結果テキスト出力	ANA
電気探査	見掛け比抵抗擬似断面図	APR
	減衰曲線・等深度電位曲線	CRV
	解析結果出力図・解析入力テキストデータ・解析結果テキスト出力	ANA
表面波探査	分散曲線	DSP
	一次元 S 波速度深度分布図	SDP
	解析結果出力図・解析入力テキストデータ・解析結果テキスト出力	ANA
地中レーダ	解析結果出力図・解析入力テキストデータ・解析結果テキスト出力	ANA
速度検層	走時曲線・走時一覧表	TRV
	波形図	WAV
	波形図 (P 波)	WAP
	波形図 (S 波)	WAS
電気検層	特別な処理を行なった場合	ANA
上記以外のデータ		ETC
収録するデータで区別しない場合		XXX

表 3-4 ファイルの拡張子 (例)

拡張子	ファイルの形式・内容
BIN	バイナリ形式のデータ
TXT	テキスト形式のデータ
CSV	表形式のテキストデータ
ORG	バイナリ形式の波形図
ORP	バイナリ形式の波形図「ORG」を P 波で区分する場合
ORS	バイナリ形式の波形図「ORG」を S 波で区分する場合
SEG	バイナリ形式の波形図 (SEG2 形式に準拠したデータファイル)
SEP	バイナリ形式の波形図「SEG」を P 波で区分する場合
SES	バイナリ形式の波形図「SEG」を S 波で区分する場合

付属資料 4 物理探査電子納品例

1 探査方法ごとの成果品と収録例

1.1 弾性波探査屈折法

表 1-1 は、2 測線で弾性波探査屈折法を実施した場合の例である。格納するデータ内容、ファイル類は、はざとり法解析とトモグラフィ解析で同じである。格納されたファイルの例を表 1-2 に示す。

表 1-1 弾性波探査屈折法の例（2 測線で探査）

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダ例	成果品の名称	説明
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	XML 形式のファイルとして格納。
SECT			速度断面図	XML 形式のファイルとして、1 測線連番につき 1 ファイルを格納。
DRAW			—	該当なし。
PROC		SR_WAV01 SR_WAV02	測定波形図	波形図に走時読み取り位置をマークした図を格納。測線連番で区分して格納。
		SR_TRV00	走時曲線 走時一覧表	走時曲線図と走時読み値の一覧表を格納。測線連番 1 と 2 の成果を一緒に格納。
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	現場測定記録・解析記録を測線連番ごとに格納。
	FLDDATA	SR_ORG01 SR_ORG02	測定ファイル	現場測定におけるファイルを測定機器のファイル形式で格納。測線連番で区分して格納。
	DOC		測定データ記述文書	測定波形ファイルの書式や読み出し方法に関する文書ファイルを格納。
ETCDATA			—	該当なし。

表 1-2 格納ファイルの例

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダの例	成果品の名称	格納ファイルの例
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	GEOPHYS.XML GPS0100.DTD
SECT			速度断面図	SCT0001.XML、 SCT0002.XML SCT0100.DTD
DRAW			—	該当なし。
PROC			解析データ情報ファイル	PROCINFO.PDF
		SR_WAV01 SR_WAV02	測定波形図	WV001001.PDF～WV001035.PDF WV002001.PDF～WV002027.PDF
		SR_TRV00	走時曲線 走時一覧表	TRVCRV01.PDF、 TRVCRV02.PDF TRVLST01.CSV、 TRVLST02.CSV
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	FINF0001.PDF、 FINF0002.PDF
	FLDDATA	SR_ORG01 SR_ORG02	測定ファイル	S101.ORG～S135.ORG S201.ORG～S227.ORG
	DOC		測定データ記述文書	SISMMANU.PDF
ETCDATA			—	該当なし。

## 1.2 電気探査

表 1-3 は、1 測線で電気探査比抵抗法二次元探査を実施した場合の例である。格納するデータファイル数が少ないので、納品者定義サブフォルダは設定していない。格納されたファイルの例を表 1-4 に示す。

表 1-3 電気探査 比抵抗法二次元探査の例（1 測線で探査）

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダ例	成果品の名称	説明
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	XML 形式のファイルとして格納。
SECT			比抵抗断面図	XML 形式のファイルとして、1 測線連番につき 1 ファイル格納。
DRAW			—	該当なし。
PROC			見掛け比抵抗擬似断面図	解析初期値として使った比抵抗分布図を格納。1 ファイルなので、納品者定義サブフォルダ設定せず。
			減衰曲線	測定値の品質管理に使った図。1 ファイルなので、納品者定義サブフォルダ設定せず。
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	現場測定記録・解析記録を測線連番ごとに格納。
	FLDDATA		測定ファイル	現場測定におけるファイルを測定機器のファイル形式で格納。1 ファイルなので、納品者定義サブフォルダ設定せず。
	DOC		測定データ記述文書	測定ファイルの書式や読み出し方法に関する文書ファイルを格納。
ETCDATA			—	該当なし。

表 1-4 格納ファイルの例

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダの例	成果品の名称	格納ファイルの例
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	GEOPHYS.XML GPS0100.DTD
SECT			比抵抗断面図	SCT0001.XML、 SCT0100.DTD
DRAW			—	該当なし。
PROC			解析データ情報ファイル	PROCINFO.PDF
			見掛け比抵抗擬似断面図、減衰曲線	EL_APR01.PDF EL_CRV01.PDF
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	FINF0001.PDF
	FLDDATA		測定ファイル	ELEC001.BIN
	DOC		測定データ記述文書	ELECMANU.PDF
ETCDATA			—	該当なし。



### 1.3 表面波探査

表 1-5 は、1 測線で表面波探査を実施した場合の例である。ファイル数が多くなる一次元 S 波速度深度分布図と分散曲線図は、納品者定義サブフォルダを設定して格納する。測線数が 1 測線であるので、「FLDDATA」サブフォルダに納品者定義サブフォルダは設定せず、直下に測定波形ファイルを格納する。格納されたファイルの例を表 1-6 に示す。

表 1-5 表面波探査の例（1 測線で探査）

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダ例	成果品の名称	説明
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	XML 形式のファイルとして格納。
SECT			S 波速度断面図	XML 形式のファイルとして、1 測線連番につき 1 ファイル格納。
DRAW			—	該当なし。
PROC		MS_SDP01	一次元 S 波速度深度分布図	起振ごとの一次元 S 波速度深度分布図を格納。
		MS_DSP01	分散曲線図	起振ごとの分散曲線を図として格納。
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	現場測定記録・解析記録を測線連番ごとに格納。
	FLDDATA		測定波形ファイル	現場測定におけるファイルを測定機器のファイル形式で格納。1 測線なので、納品者定義サブフォルダ設定せず。
	DOC		測定データ記述文書	測定波形ファイルの書式や読み出し方法に関する文書ファイルを格納。
ETCDATA			—	該当なし。

表 1-6 格納ファイルの例

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダの例	成果品の名称	格納ファイルの例
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	GEOPHYS.XML GPS0100.DTD
SECT			S 波速度断面図	SCT0001.XML、 SCT0100.DTD
DRAW			—	該当なし。
PROC			解析データ情報ファイル	PROCINFO.PDF
		MS_SDP01	一次元 S 波速度深度分布図	SW1DS001.PDF～SW1DS041.PDF
		MS_DSP01	分散曲線図	SWDSP001.PDF～SWDSP041.PDF
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	FINF0001.PDF
	FLDDATA		測定ファイル	W0001.DAT～W0041.DAT
	DOC		測定データ記述文書	SEG2FRMT.PDF
ETCDATA			—	該当なし。

#### 1.4 地中レーダ

表 1-7 は、調査箇所 1 箇所での 10 測線の地中レーダを実施し、5 深度分の平面スライス図を成果図とした場合の例である。1 箇所を 1 測線連番として成果を作成する。1 測線連番であるので、「FLDDATA」サブフォルダに納品者定義サブフォルダは設定せず、直下に測定ファイルを収録する。格納されたファイルの例を表 1-8 に示す。

表 1-7 地中レーダの例（1 箇所での探査）

サブフォルダ名	納品者定義サブフォルダ例	成果品の名称	説明
GEOPHYS		物理探査情報管理ファイル	XML 形式のファイルとして格納。
SECT		—	該当なし。
DRAW		記録断面図 記録平面図	記録断面図および記録平面図(深度スライス図など)を PDF 形式で格納。
PROC		解析入力テキストデータ	記録断面図や記録平面図を作成する際に施したデータ処理、パラメータ内容などを格納。
ORGDATA	FLDINFO	測定・解析記録	現場測定記録・解析記録を格納。一定の範囲で複数の測線を設定しているため、各測線の位置関係図を格納。
	FLDDATA	測定ファイル	現場測定におけるファイルを測定機器のファイル形式で格納。1 測線連番であるため、納品者定義サブフォルダは設定していない。
	DOC	—	測定データの記述文書
ETCDATA			該当なし。

表 1-8 格納ファイルの例

サブフォルダ名	納品者定義サブフォルダ例	成果品の名称	格納ファイルの例
GEOPHYS		物理探査情報管理ファイル	GEOPHYS.XML GPS0100.DTD
SECT		—	該当なし。
DRAW		記録断面図 記録平面図	DRWC001.PDF (範囲に含まれる記録断面図、平面図をまとめて格納)
PROC		解析データ情報ファイル	PROCINFO.PDF
ORGDATA	FLDINFO	測定・解析記録	FINF0001.PDF
	FLDDATA	測定ファイル	FILE0001.DZT～FILE0010.DZT (測線分の測定データ)
	DOC	測定データ記述文書	GPRMANU.PDF
ETCDATA		—	該当なし。

### 1.5 速度検層

表 1-9 は、1 孔で速度検層（ダウンホール方式）を実施した場合の例である。P 波と S 波の測定を実施する。速度検層の最終成果は、ボーリング柱状図と併せて、BORING/DATA フォルダに XML 形式で格納する。したがって、SECT および DRAW フォルダへの格納はない。測定波形ファイルが多くなるので、P 波と S 波に分け、納品者定義サブフォルダは設定を設定して格納した。格納されたファイルの例を表 1-10 に示す。

表 1-9 速度検層（ダウンホール方式）の例（1 孔で P 波と S 波を検層）

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダ例	成果品の名称	説明
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	XML 形式のファイルとして格納。
SECT			—	該当なし。第 2 編ボーリング柱状図編に従い BORING/DATA フォルダに XML 形式で格納。
DRAW			—	
PROC		VL_WAP01 VL_WAS01	測定波形図	波形図に走時読み取り位置をマークした図を格納。P 波と S 波を区別して格納。
		VL_TRV01	走時曲線 走時一覧表	走時曲線図と走時読み値の一覧表を格納。P 波と S 波の成果を一緒に格納。
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	現場測定記録・解析記録を測線連番ごとに格納。
	FLDDATA	VL_ORP01 VL_ORS01	測定波形ファイル	現場測定におけるファイルを測定機器のファイル形式で格納。P 波と S 波を区別して格納。
	DOC		測定データ記述文書	測定波形ファイルの書式や読み出し方法に関する文書ファイルを格納。
ETCDATA			—	該当なし。

表 1-10 格納ファイルの例

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダ例	成果品の名称	格納ファイルの例
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	GEOPHYS.XML GPS0100.DTD
SECT			—	該当なし。
DRAW			—	該当なし。
PROC			解析データ情報ファイル	PROCINFO.PDF
		VL_WAP01 VL_WAS01	測定波形図	WV00P001.PDF～WV00P052.PDF WV00S001.PDF～WV00S052.PDF
		VL_TRV01	走時曲線 走時一覧表	TRVCRV01.PDF TRVLST01.CSV
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	FINF0001.PDF
	FLDDATA	VL_ORP01 VL_ORS01	測定波形ファイル	S101.ORG～S152.ORG S201.ORG～S252.ORG
		DOC		測定データ記述文書
ETCDATA			—	該当なし。

## 1.6 電気検層

表 1-11 は、1 孔で電気検層（ノルマル検層）を実施した場合の例である。測定器読み値をそのまま深度ごとにプロットすれば良いので、PROC サブフォルダへの格納はない。また、測定ファイルは 1 ファイルなので、納品者定義サブフォルダの設定はない。格納されたファイルの例を表 1-12 に示す。

表 1-11 電気検層の例（1 孔で検層）

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダ例	成果品の名称	説明
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	XML 形式のファイルとして格納。
SECT			—	該当なし。
DRAW			見掛け比抵抗深度曲線	見掛け比抵抗深度曲線図を PDF ファイルで格納。
PROC			—	該当なし。
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	現場測定記録・解析記録を測線連番ごとに格納。
	FLDDATA		測定ファイル	現場測定におけるファイルを測定機器のファイル形式で格納。1 孔なので、納品者定義サブフォルダ設定せず。
	DOC		測定データ記述文書	測定ファイルの書式や読み出し方法に関する文書ファイルを格納。
ETCDATA			—	該当なし。

表 1-12 格納ファイルの例

サブフォルダ名		納品者定義サブフォルダの例	成果品の名称	格納ファイルの例
GEOPHYS			物理探査情報管理ファイル	GEOPHYS.XML GPS0100.DTD
SECT			—	該当なし。
DRAW			見掛け比抵抗深度曲線	DRJS0101.PDF
PROC			解析データ情報ファイル	PROCINFO.PDF
ORGDATA	FLDINFO		測定・解析記録	FINF0001.PDF
	FLDDATA		測定ファイル	EL0001.CSV
	DOC		測定データ記述文書	ELMANU.PDF
ETCDATA			—	該当なし。

## 2 物理探査電子納品例

### 2.1 業務の概要

以下の業務について、物理探査の電子納品例を示す。

業務件名：〇〇〇線△△△地区地質調査業務

業務場所：〇〇県△△市××地先から□□地先

業務期間：平成〇〇年△月××日～平成〇〇年□□月△△日

業務目的：

本業務は、〇〇〇線に計画されている△△トンネルおよび△△川橋終点側橋台について、地表地質踏査、調査ボーリング、原位置試験、物理探査、室内岩石試験及び解析等調査を実施し、トンネルおよび橋台設計に必要となる地形・地質に関する基礎資料を得ることを目的として実施した。

業務内容：

調査内容一覧表を表 2-1 に示す。

- ・ 機械ボーリング延べ 95m（鉛直ボーリング延べ 65m、水平ボーリング延べ 30m）
- ・ 標準貫入試験 13 回
- ・ 孔内水平載荷試験 3 回
- ・ 弾性波探査屈折法（発破法）0.4km
- ・ 電気探査比抵抗法二次元探査 0.4km
- ・ 室内岩石試験一式（一軸圧縮強度、引張り強度、超音波伝播、各 1 個）
- ・ 孔内水位観測 6 回
- ・ 総合解析一式

発注者：国土交通省〇〇地方整備局△△国道事務所

受注者：〇〇〇調査設計コンサルタント株式会社△△支社

- ・ 管理技術者：調査太郎（技術士：応用理学部門、総合技術監理部門）
- ・ 担当技術者：試験次郎（技術士：応用理学部門）
- ・ 担当技術者：探査三郎（技術士：応用理学部門）
- ・ 担当技術者：設計四郎（地質調査技士）

表 2-1 調査内容一覧表

調査項目		No.	数量	標準貫入試験	孔内水平載荷試験	室内岩石試験	孔内水位観測
機械ボーリング	鉛直ボーリング	BV120201	28m	—	1 回	各 1 個	—
	水平ボーリング	BH120202	30m	—	—	—	—
	鉛直ボーリング	BV120203	11m	7	2 回	—	—
	鉛直ボーリング	BV120204	26m	6	—	—	6 回
物理探査	弾性波探査屈折法	L1	0.4km	—	—	—	—
	比抵抗法二次元探査	L1	0.4km	—	—	—	—

## 2.2 フォルダとファイルの構成

2.1 で示した業務成果における電子納品におけるフォルダ構成を、図 2-1 に示す。また、各フォルダと格納するファイルの概要を表 2-2 に示す。図 2-1 において赤線で囲んだ範囲が物理探査における電子納品の対象となる。

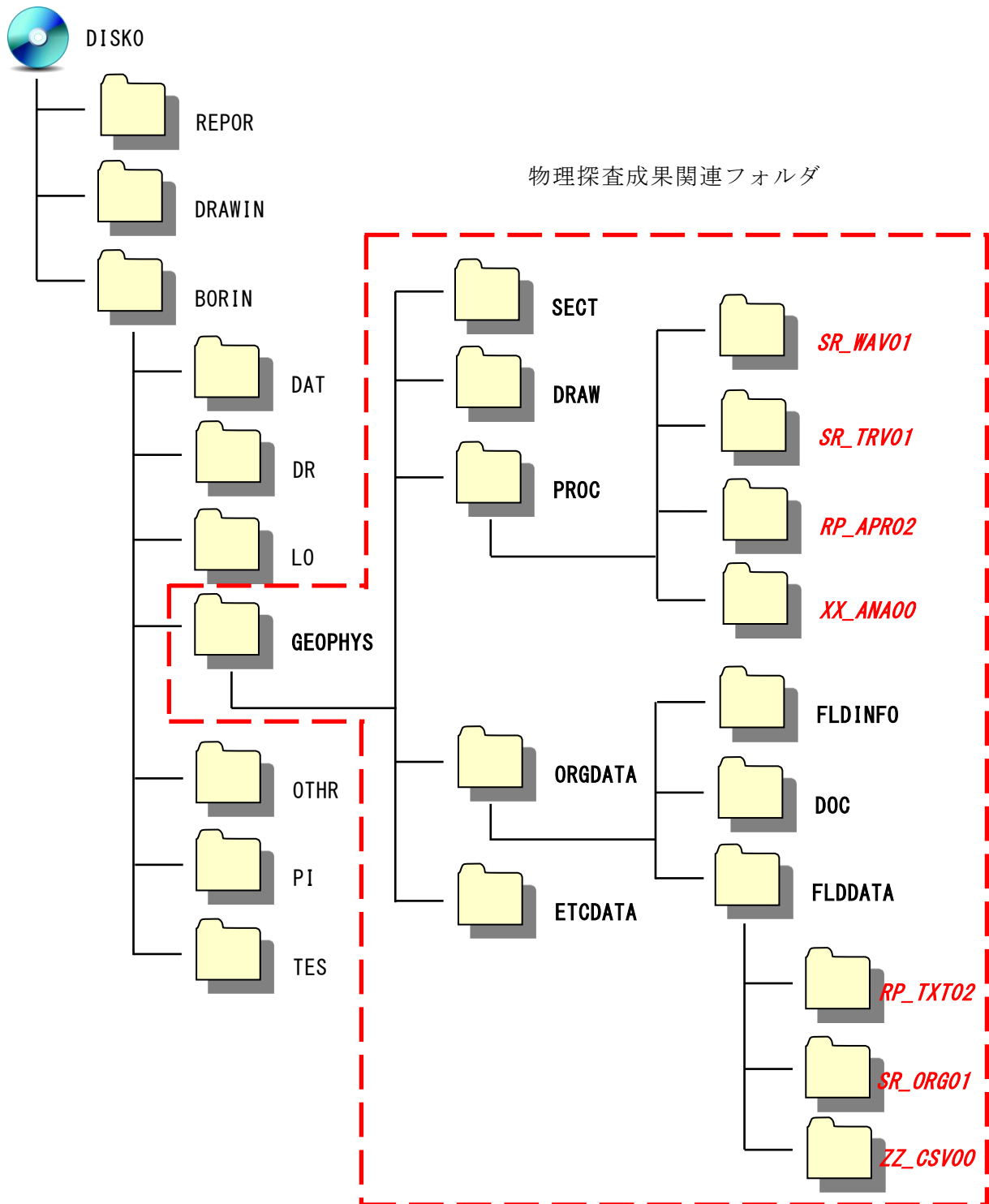


図 2-1 フォルダ構成（斜字は納品者定義サブフォルダ）

表 2-2 フォルダと格納するファイルの概要

フォルダ	サブフォルダ 1	サブフォルダ 2	サブフォルダ 3	サブフォルダ 4	格納する電子成果品	ファイル(DTD ファイルは除く)	
REPORT	報告書フォルダ				.....	.....	
DRAWING	図面フォルダ				.....	.....	
BORING	地質データフォルダ				.....	.....	
	DATA	ボーリング交換用データ			.....	.....	
	DRA	電子簡略柱状図			.....	.....	
	LOG	電子柱状図			.....	.....	
	PIC	.....			.....	.....	
	TEST	.....			.....	.....	
	OTHR	.....			.....	.....	
	GEOPHYS		物理探査フォルダ		物理探査に関する基本情報	GEOPHYS.XML GPS0100.DTD	
			SECT	物理探査交換用断面データ	物理探査交換用断面データ	SCT0001.XML SCT0002.XML SCT0100.DTD	
			DRAW	物理探査平面データ	収録なし	—	
			PROC	物理探査解析データ		物理探査解析データ	PROCINFO.PDF
				SR_WAV01*	波形図、初動読み値データ		WAVE0032.PDF* ~WAVE0167.PDF
				SR_TRV01*	走時曲線		TRAV0001.PDF* TRAV0001.CSV*
				RP_APR02*	見掛け比抵抗擬似断面図		ELAP0102.PDF*
			XX_ANA00*	解析ファイル		SEIS0001.TXT* REST0002.TXT*	
			ORGDATA	物理探査測定原データ		物理探査測定記録データ	ORGDINFO.PDF*
				FLDINFO	現場測定・解析記録	現場測定・解析記録データ	FINF0001.PDF FINF0002.PDF SHOTFILE.PDF*
				DOC	マニュアル	原測定ファイル読み取り手順文書ファイル	MCSEISSX.PDF* SPRSTING.PDF*
				FLDDATA	原測定データ		現場測定オリジナルファイル
			RP_TXT02*		比抵抗法二次元探査オリジナルファイル		ELT02001.CMD* ELT02001.STG* POL02001.CMD* POL02001.STG*
			SR_ORG01*		弾性波探査屈折法オリジナルファイル		MC032_SX.ORG* ~MC167_SX.ORG
		ZZ_CSV00*	測線測量ファイル		LINE0001.CSV*		
		ETC	その他物理探査データ		収録なし	—	

\*利用者定義サブフォルダ名および利用者定義ファイル名

## 2.3 物理探査成果格納ファイルの概要

以下、物理探査成果を格納するサブフォルダごとに、電子ファイルの格納例と概要を示す。なお、物理探査成果電子ファイル作成に際しては、以下の測線連番で行った。

- ・ 弾性波探査屈折法 測線名：L01、測線連番：1
- ・ 比抵抗法二次元探査 測線名：L01、測線連番：2

### 2.3.1 GEOPHYS サブフォルダ

「GEOPHYS」サブフォルダ格納するファイルは、以下の物理探査情報管理ファイルとその DTD ファイルとなる。

- ・ GEOPHYS.XML
- ・ GPS0100.DTD

### 2.3.2 SECT サブフォルダ

このサブフォルダに格納するファイルは、弾性波探査屈折法トモグラフィ解析と比抵抗法二次元探査の物理探査交換用断面データファイルの XML 形式の 2 ファイルとその DTD ファイルである。

- ・ SCT0100.DTD
- ・ SCT0001.XML (弾性波探査屈折法・トモグラフィ解析 速度断面図)
- ・ SCT0002.XML (比抵抗法二次元探査 比抵抗断面図)

### 2.3.3 DRAW サブフォルダ

収録はない。

### 2.3.4 PROC サブフォルダ

このサブフォルダには、解析データ情報ファイル PROCINFO.PDF と弾性波探査屈折法と比抵抗法二次元探査における解析過程データを格納するサブフォルダ（納品者定義）を収録している。収録しているファイルは以下のとおりである。

- ・ PROCINF.PDF (解析データ情報ファイル)
- ・ SR\_WAV01 (波形図、初動読み値データ格納サブフォルダ)
- ・ SR\_TRV01 (走時曲線格納サブフォルダ)
- ・ RP\_APR02 (見掛け比抵抗擬似断面図格納サブフォルダ)
- ・ XX\_ANA00 (解析入出データフィルサブフォルダ)

#### (1) 解析データ情報ファイル

解析データ情報ファイル PROCINFO.PDF には、PROC サブフォルダに格納されている電子ファイルとデータの対応を記述している。表 2-3 に PROCINFO.PDF の例を示す。

#### (2) SR\_WAV01 サブフォルダ（納品者定義サブフォルダ）

弾性波探査屈折法の間接成果として走時読み位置をマークした波形図を格納している。ファイルは PDF 形式であり、収録ファイルは以下のとおりである。

- ・ WAVE0032.PDF～WAVE0167.PDF

#### (3) SR\_TRV01 サブフォルダ（納品者定義サブフォルダ）

弾性波探査屈折法の間接成果として走時曲線と走時データを格納している。格納ファイルは以下のとおりであり、表形式ファイルと PDF 形式ファイルとしている。表形式ファイルは走時データを整理したものである。

- ・ TRAV0001.PDF
- ・ TRAV0001.CSV

#### (4) RP\_APR02 サブフォルダ（納品者定義サブフォルダ）

比抵抗法二次元探査の間接成果として見掛け比抵抗擬似断面図を格納している。格納ファイルは以下のとおりであり、PDF 形式ファイルとしている。

- ・ ELAP0102.PDF



表 2-3 解析データ情報ファイル PROCINFO.PDF

測線名	探査手法	測線連番	サブフォルダ	ファイル名称	内容
L01	共通	—	FILDDATA/ZZ_CSV00	LINE0001.CSV	測線測量、地盤高データ
	弾性波探査屈折法	01	FLDINFO	FINF0001.PDF	現場測定・解析記録
				SHOTFILE.PDF	測線展開、測定ファイル対応記録
			FILDDATA/SR_ORG01	MC032_SX.ORG～ MC041_SX.ORG MC042_SX.ORG～ MC051_SX.ORG MC148_SX.ORG～ MC157_SX.ORG MC158_SX.ORG～ MC167_SX.ORG	測定波形オリジナルデータファイル
			DOC	MCSEISSX.PDF	測定波形オリジナルファイルの書式を記述した文書ファイル
	比抵抗法二次元探査	02	FLDINFO	FINF0002.PDF	現場測定・解析記録
			FILDDATA/RP_TXT02	ELT02001.CMD POL02001.CMD	測定設定ファイル (TXT 形式)
				ELT02001.STG POL02001.STG	測定オリジナルファイル (TXT 形式)
			DOC	SPRSTING.PDF	測定波形オリジナルファイルの書式を記述した文書ファイル

ファイル名 MC nnn\_SX.ORG の nnn は、波形、初動読み位置ファイル WAVE0nnn.PDF のファイル番号 nnn に対応する。

#### (5) XX\_ANA00 サブフォルダ (納品者定義サブフォルダ)

ここでは、テキスト形式の解析データファイルを格納している。格納しているファイルは、以下のとおりである。

- ・ SEIS0001.TXT 弾性波探査屈折法トモグラフィ解析
- ・ REST0002.TXT 比抵抗法二次元探査

#### 2.3.5 ORGDATA サブフォルダ

このサブフォルダには、弾性波探査屈折法と比抵抗法二次元探査の測定原記録データを格納している。

- ・ FLDINFO (現場測定、解析記録データサブフォルダ)
- ・ FLDDATA (測定原データサブフォルダ)
- ・ DOC (測定データ記述文書サブフォルダ)

##### (1) FLDINFO サブフォルダ

このサブフォルダには、測定・解析原データを記述したファイル、測定オリジナルファイル、PROC サブフォルダと SECT サブフォルダに格納したデータとの関係を示す記録が記述されているファイルが格納してある。格納ファイルは、以下のとおりである。

- ・ FINF0001.PDF 弾性波探査屈折法現場測定、解析記録
- ・ FINF0002.PDF 比抵抗法二次元探査現場測定、解析記録

- ・ SHOTFILE.PDF 弾性波探査屈折法現場測定記録、ファイル対応表

## (2) FLDDATA サブフォルダ

ここでは、測線測量成果（地盤高）、弾性波探査屈折法の測定波形オリジナルファイル、比抵抗法二次元探査の測定オリジナルファイルを納品者定義のサブフォルダに区分して格納している。サブフォルダを以下に示す。

- ・ SR\_ORG01 弾性波探査屈折法、測定波形オリジナルファイル
- ・ RP\_TXT02 比抵抗法二次元探査、測定設定、測定オリジナルファイル
- ・ ZZ\_CSV00 測線測量ファイル

SR\_ORG01 サブフォルダに格納しているファイル（一部）を、図 2-2 に示す。

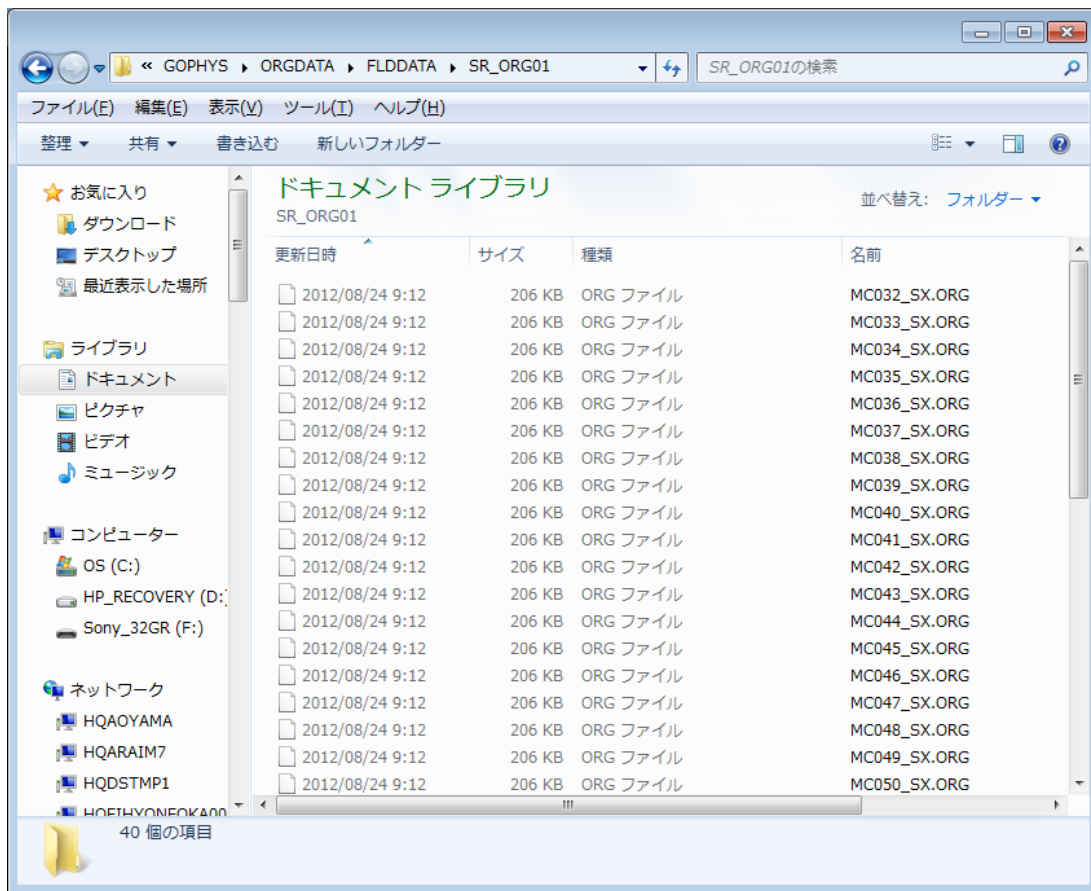


図 2-2 SR\_ORG01 格納ファイル（一部）

## (3) DOC サブフォルダ

FLDDATA サブフォルダに格納した測定オリジナルファイルの書式を記述した文書ファイルを格納している。格納ファイルは、以下のとおりである。

- ・ MCSEISSX.PDF 弾性波探査屈折法、測定波形ファイル書式
- ・ SPRSTING.PDF 比抵抗法二次元探査、設定・測定オリジナルファイル書式

## 2.3.6 ETCDATA サブフォルダ

格納該当なし。